


## - 1 . 平成 21 年度地方の元気再生事業フォローアップ調査

### Follow-up Survey on the Project to Activate local areas in 2009

 <b>キーワード</b>	地域活性化、街おこし
<b>Key Word</b>	Activation of local areas, Renovation of the town

#### 1. 調査の目的

地方の元気再生事業は、地方再生の取り組みを進める上での隘路となるプロジェクトの立ち上がり段階について、ソフト分野を中心に集中的に支援を行い、地方の実情に応じた生活の維持や魅力ある街づくり、産業の活性化に道筋をつけるため、平成 20 年度より実施している事業である。

このため、地域活性化に係るプロジェクトの熟度を高めるための、立ち上がり段階における先進的・総合的なプロジェクトを公募し、提案されたプロジェクトは民間有識者からなる地域活性化戦略チームの意見を踏まえたうえで選定され、全額国費による国からの委託調査として実施される。

平成 21 年度は平成 20 年度からの継続提案については 96 件を、新規提案については 190 件を選定した。

本調査は「地方の元気再生事業」のチェックの一環として、フォローアップを行い、個々の取り組みのシステム上のボトルネックを明らかにし、地域の取り組みを全国に波及させ地方再生がより力強く進む一助となることを目的とする。

#### 2. 調査研究成果概要

##### (1) 調査の構造

本調査研究は大きく分け 3 つに分かれる

調査票による調査

ヒアリング調査

調査のまとめと報告書の作成

##### (2) 調査の内容

調査票による調査

以下の項目を盛り込んだ調査票を作成し、全事業に調査依頼を行った。

ア. 取り組み内容

イ. 取組結果

ウ. 取組実施における体制・役割分担

エ. 取り組みの当初目標及び実際に得られた成果

オ. 活動の反省点、改善点

カ. 取り組み・波及を阻むボトルネック

キ. 22 年度以降の活動の見込み

ク. その他、HP にて紹介したい事柄

ヒアリング調査

活動を行う際に直面した「課題・悩み」についてのアンケートを実施し、事業を進める上でどのような事項が障害になっているかを調べた。また、この結果をもとに、主要な課題・悩みを抽出し、それらの代表的な取り組みの団体を集め、ヒアリングを行った。ヒアリングの結果は今後の事業を推進する上で解決すべき課題を明確にし、対策を講

じる資料とした。

まとめ

報告書の作成

ホームページ素材の作成

### (3)主な成果

本事業の効果が確認できた。

本事業のように活動全体に資金を提供する補助金は他にないため、多くの団体は、「今後の事業への不安」を感じていた。同事業は事業仕分けの対象になり、補助金は今年度末までとなっている。各々地域で事業をやってきたことが、今後も継続できるか不安を感じている。代替となる事業や補助金などの要望が大きい。

どの団体にも共通した悩みとして聞かれたのは、現行法の多くは NPO が主体者として行為を行う事を想定していないために、行動の多くに制約が付く。また、行政に相談に行っても、どの窓口に行っているのか分からないなど、行政側にも多くの課題がある。その他にも、事業自体は地域住民からのニーズはあるが、既存の業者からの抵抗にあい、なかなか事業を継続するのが難しい。また、内部組織の意見がまとめるのが難しいという組織も多い。

各団体の共通した課題は以下が挙げられる。

- 法律上の課題
  - ・規制による妨げ。
  - ・NPO の現行法での行為限定。
- 行政上の課題
  - ・行政の窓口が不明確。
  - ・ワンストップの窓口がない
  - ・地域により異なる行政の見解。
- 制度上の悩み
  - ・資金繰りが苦しい NPO では使いにくい精算払いの補助金であること。
  - ・備品等は、購入が安く上がってもリースに限定される。
  - ・公募から申請の短すぎる時間。

今回の調査結果は地域の活性化を支援する今後の事業に活かすことが重要である。